

かしわ もり 柏葉の杜



学校だより NO. 49
平成30年12月21日
八頭町立八東小学校
電話71-0108 FAX71-0107

平成の終わりにあたり ～ 一日一日を全力で ～

八東小校長 谷口 道行

平成30年がもう数日で終わります。30年続いた「平成」という時代が、年が明けて4月30日には終わります。

この平成を振り返ったとき、「新八東小学校」においても大きな転換期でした。旧安部小・旧八東小・旧丹比小が統合し、平成29年度4月から「新八東小学校」が誕生しました。あれから2年近くが過ぎようとしています。早いものです。旧八東中学校が改修され、見違えるようにきれいになったすばらしい校舎。1週200メートルトラックのとれる広い校庭。小学校にはないような大きな体育館。(先日、体育館も町行政・町教育委員会のお力でLED照明も新設され、更衣室も改修され、とても明るくきれいになりました。)そして、様々な文化的行事・儀式的行事に活用している八東体育文化センターの大ホール。このすばらしい教育環境に子供たちも教職員も、本当に心から感謝しています。

そうした中で子供たちも健やかに成長しています。先日、県教育委員会事務局東部教育局長・吉川誠司様が、本校を初めて訪問してくださいました。その際、この学校環境に驚かれると共に、このすばらしい環境のもとで、子供たち一人一人が、「つながる子・うみだす子・やりぬく子」のめざす児童像に向け、着実に育っている様子を誉めてくださいました。全学年・全学級を参観され、子供たちのろうかでのあいさつの姿、教室で学ぶ姿等々、午後からの訪問で短い時間でしたが、そうした子供たちの姿をしっかりと見ていただき、子供たちの成長をたくさん誉めていただきました。

さて、この2学期も実りある2学期となりました。終業式で児童に見せる校長プレゼンテーションのための写真をピックアップしながら、たくさんの行事や活動場面の写真の中に見える子供たちの生き生きとした輝く明るい表情を見ながら、すばらしい成果のあった2学期だったと感じました。

1年生から6年生まで各学年が、地域のみなさん、関係機関のみなさんの御支援をいただき、様々な学びを体験することができました。八東フェスティバルを始めとして様々な学校行事でも、全校で力を合わせて見事にやりぬいたと実感しています。そして、何よりもうれしいのは、そうした機会や場面を通して6年生を始め、全学年が一步一步成長していることが、実感できたことです。

平成31年・2019年を最後に、2020年(平成32年)からは、学校の教育内容も大きく変わります。10年ぶりに学習指導要領が改訂され、次の時代に向けた教育がより一層、指向されていきます。しかし、本校のめざす児童像は変えることなく、変わることなく、次の時代にも、次の時代にこそ、生きる児童像だと考えます。「つながる子・うみだす子・やりぬく子」この言葉をしっかり肝に銘じて、八東小学校これからも歩みを進めていきます。

目まぐるしく変化していく時代。おそらくこれから先の10年・20年は、私たちがこれまで感じてきた流れとは明らかに違う、より一層激しい時代の潮流の中で子供たちは生きていくことになると思います。そうした時代であるからこそ、こんな言葉を大切に思います。

ご存じの方もいるかと思いますが、第4代経団連会長・土光敏夫さん(明治29年～昭和63年)。昭和の時代に生きた、昭和の時代を代表する財界人です。「メザシの土光さん」と言えば分かる方もいるかもしれませんね。この方のこんな言葉があります。

「日に新たに、日々に新たなり。何事も今日という一日に全力を傾けることだ」

一日一日を大切に、一日一日を全力で、その生き方の大切さを語っています。子供たちにも、こんな気持ちで、勉強に運動に、日々の生活に向かってほしいと願います。今日という日に全力を傾ける。今日という一日を有意義に過ごす。その心を大切にしてほしいと願います。一日一日を無駄にすることなく、大切に生きてほしいと思います。

平成30年の年の終わりにそのことを強く思います。

保護者、地域、関係者の皆様、本年も八東小学校教育に多大な御理解・御支援を賜り、心より感謝申し上げます。来る平成31年、2019年も変わらぬ御理解・御支援の程、宜しく願いいたします。そして、皆様にとりまして、明年・亥年がすばらしい年となりますよう祈念し、年末のあいさつとさせていただきます。どうぞ良いお年をお迎えください。

2学期のふり返り

子供たちのがんばりが見えてきます

- 1年 木原 愛翔 ・算数が苦手なので、ペア学習をして頑張ったり、発表をいっぱいしたりしました。
- 2年 小竹 李咲 ・八東フェスティバルでは、声が大きく出せるように頑張りました。
- 3年 坂本 ゆりか ・かけ算九九がすらすらできるように、家でも頑張りました。
- 3年 大村 さくら ・自分考えを、ノートにたくさん書けるよう頑張りました。
- 4年 竹内 生樹 ・読書を特に頑張りました。12月は30冊も借りて読むことができました。おかげで、読書が楽しくなりました。
- 5年 藤田 陽瑠 ・ろうか歩行にもがんばり、右側通行や走らないことを意識しました。
- 5年 藤田 紗那 ・八東フェスティバルでは、実行委員として進んで活動することができました。
- 6年 山本 凜 ・陸上大会に向けて、みんなで励まし合いながらきつい練習に頑張りました。
- 6年 清水 勇斗 ・算数の立体の体積を求める時、自分の考えや友達の考えなどノートに書いて、思いや考えの詰まったノートづくりができるよう頑張りました。
- 6年 清水 勇斗 ・陸上のリレー練習に頑張りました。声を出すタイミングやバトンのタイミングなどを合わせ、県で1位になりました。友達と協力することの大切さがわかりました。

おめでとうございます

県児童詩・作文集「あじさい」

〔作文の部〕

(入選)

4年 西田 佳夏

〔詩の部〕

(入選)

1年 下田 紘慎

3年 中村 創

(佳作)

1年 藤田 真之介

1年 花木 結愛乃

3年 坂本 ゆりか

鳥取県教育長表彰

全国スポーツ少年団ホッケー交流大会

県選抜 全国優勝

6年 道端 晴也

12月ノートチャンピオン

- 1年 中田 志和
2年 川村 桂輔
3年 中嶋 悠介
4年 大石 佳奈
5年 樋引 美菜穂
6年 小竹 味歩
6年 野崎 暖

早めに家に帰りましょう

以前にも、お便りでお知らせしましたが、夕方暗くなるまで遊んでいる子供たちがいます。声かけすると帰るのですが、自分たちで考えて行動することが、なかなかできません。毎日のように声かけしているのが現状です。

暗くなると、けがや事故のもとになります。御家庭の方でも「早く帰るよう」声かけをお願いします。

多くの本との出会いを

2学期間(9月1日~12月10日)子供たちは、多くの本と出会うことができました。全校で、学校図書館の本の貸し出し冊数は、6,807冊。一人あたり44冊になりました。1学期を含めると、13,301冊になり、一人あたり86冊になります。子供たちは、多くの本を読んでいることがわかります。

この冬休みは、18日間あります。多くの本との出会いを通して、一生の思い出に残る本、糧となる本に出会えるといいですね。

〔八東小貸出冊数 ベスト〕

- 1位 (20冊) 幸せになるぞ なぞなぞコレクション1
2位 (19冊) ようかいむかし話 かつば
3位 (18冊) いちばん!のクイズ図鑑
動物のクイズ図鑑
いちにちむかしばなし
4位 (17冊) お願い!フェアリー20
ハッピー&ラッキーうらない入門
いじめだよ!
ようかいむかし話 やまんば・雪女
サトミちゃんちの8男子 1

